

「強度行動障害実態調査票（旧法基準）」記入要領

1 調査票の記入にあたって

- (1) 調査は、平成 29 年 8 月 1 日現在の貴施設等でサービスを受けている利用者のうち、行動障害が顕著な方についてのみお答えください。（全利用者を対象に調査を実施していただく必要はありません。）
また、強度行動障害実態調査総括表〔第 1 号様式〕にある行動障害のある利用者の人数と強度行動障害実態調査票（旧法基準）〔第 2 号様式〕の枚数は、同数となりますので、ご提出いただく際にご留意ください。
なお、本調査票は施設単位でお送りしています。各施設で複数のサービスを提供している場合、行動障害のある利用者が利用している主なサービス 1 つを記載してください。（1 人の利用者が利用するサービスごとに重複して記載しないようにお願いします。）
- (2) 調査にあたっては、利用者の状態像を正しく把握するために可能な限り、複数の職員で評価をお願いします。
- (3) 調査票の記入にあたっては、評価の基準の幅が広く、基準があいまいなため、評価のつけ方にばらつきが生じやすい傾向にあります。そこで、評価する上での「2 評価基準、留意点について」を作成したので、一読の上、評価してください。
- (4) 「【設問 3】対象の方への支援状況について」は、支援の取り組み状況を把握するためのものであり、支援の実施状況により、行動障害が表出しているかないかは問いません。

2 評価基準、留意点について

- (1) 調査の判断期間は過去 6 か月間です。また、一時的でなく 6 ヶ月間以上、行動障害が継続している場合を調査の対象とします。（利用期間が 6 ヶ月に満たない利用者は、サービス利用期間内で評価してください。）また、10 と 11 については、過去 6 ヶ月間に「困難」とされる状態が 1 度でもあればカウントとします。
- (2) 職員の負担感でなく、本人の現れている行動（状態像）で評価します。
- (3) 個別の関わりや特別な配慮（※）等により、行動障害の軽減が図れている場合は、その状態像での判断をお願いします。
※特別な配慮とは、【設問 3】にある（1）から（4）の対応や生活用品、生活設備の改善など本人の行動障害軽減のために行っている取り組み全般のことをさします。
- (4) 行動障害の評価のポイントとして、危険性、緊急性の高い状況であり、かつ以下のいずれかの要素を含むことを前提とします。
 - ・止めても止めきれない行為であること。
 - ・本人自身に与える影響が大きい行為。
 - ・周囲に与える影響が大きい行為。
- (5) 基本的に一つの行動に対して一つの項目で評価してください。（重複してカウントはしないでください。）ただし、パニックが生じた結果、周囲への爆発的な粗暴行為が高い場合のみ、10、11 の項目の重複は可とします。
<例>
 - ・器物破損、食事、排泄等に関するこだわりは、「4 器物破損」、「6 食事」、「7 排泄」それぞれの項目に当てはめ、「3 こだわり」の項目には入れない。
 - ・便の異食は、「7 排泄」の項目ではなく、「6 食事」に入れる。（調査票の例示に沿う）
- (6) 調査票に記載されている具体例の他、補足として次ページ（裏面）に「<補足>行動障害の具体例」を記載したので参考にしてください。
- (7) 「頻度」については該当欄を○で囲み、その合計した点数を「計」欄に記入してください。

＜補足＞ 行動障害の具体例

	具 体 例
1 自傷	<ul style="list-style-type: none"> ・身体の一部を噛む、引っかく、床や壁に叩きつける等により、出血、ひどい変形、腫れに至るほどの自傷。 ・自傷を繰り返すことにより、縫合するほどの傷、変色、変形、噛みダコ、叩きダコが見られ、完治しにくい状態に至る自傷。 ・はげが出来てしまうほど、頭髪を抜く。
2 他害	<ul style="list-style-type: none"> ・加減なく、相手を突き飛ばす。 ・蹴る、殴る、髪引き、頭突き、引っかく、爪を立てる、歯型がつくほど噛み付く、目を突く。 ・相手が怪我する恐れのある物を使って怪我をさせる。相手に向かって物を投げつける。
3 こだわり	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活に支障をきたすほどのこだわり。（強迫的に行動を繰り返す、固まって動けない等） ・場面が変わっても思い出したかのように、そのものを強引に取りに行く。
4 器物破損	<ul style="list-style-type: none"> ・石を投げたり、押ししたりして物を壊す。 ・階下に意図的に物を落とす。（物を壊そうとして） ・何度も繰り返すため、補充、修理に苦慮する。 <p>※ただし、環境整備（壊れない物に代用、配置を変える等）することで改善された場合は、該当しない。</p>
5 睡眠障害	<ul style="list-style-type: none"> ・寝られない状態が続くことにより、心身ともに負担が大きい状態。 ・睡眠が取れないイライラ感や眠気により、生活や日中活動に影響を及ぼしている状態。 ・夜間の覚醒、歩きまわり、奇声、危害などを加える。他の人の睡眠にも影響が大きい状態。
6 食事	<ul style="list-style-type: none"> ・多飲水。 ・嘔吐のこだわり、反芻。 ・他者の食事を取ってしまう。
7 排泄	<ul style="list-style-type: none"> ・排泄するには適当でない場所での排泄。（居室、廊下、決まった場所、物にしてしまうなど）
8 多動	<ul style="list-style-type: none"> ・飛び出した結果、危険を顧みず飛び降りる。 <p>※単に落ち着きがなく歩き回る場合は、該当しない。</p>
9 騒がしさ	<ul style="list-style-type: none"> ・激しい奇声。 ・壁を叩き続ける、足で床を踏みならす、壁、ドアを蹴るなど。
10 パニック	<ul style="list-style-type: none"> ・タイムアウトが図れず、対応がしきれないため、周囲が危険回避しなければならない状態。 ・錯乱状態になり、落ち着くまでに時間がかかる。（タイムアウトすることですぐ落ち着く場合は、カウントしない） <p>※パニックが出ても、周囲への粗暴行為がなければ、パニックの項目のみ。</p>
11 粗暴行為	<ul style="list-style-type: none"> ・日常のちょっとしたことでも、突発的に粗暴行為がある状況。 ・いつ、爆発的に粗暴行為が生じるのか予測が立たず、対応する側が恐怖を感じるような状況。 <p>※粗暴行為があっても、すぐにクールダウンできる場合は（パニック状態にはならない）、粗暴行為の項目のみ。</p>